

— すべてのステークホルダーから信頼され支持される企業へ —

ADMIRE COMPANY

2020年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2019年10月24日

ネットワンシステムズ株式会社

証券コード 7518



■■■ Agenda ■■■

- **2020年3月期 Q1-2（4-9月）業績概要** P. 02-08
- **中期事業計画の進捗** P. 09-14
- **2020年3月期 通期業績の見通し** P. 15-17

2020年3月期 Q1-2（4-9月）業績概要

2020年3月期 第2四半期 業績サマリー

(単位：百万円)	2019/03 Q1-2 実績 (A)		2020/03 Q1-2 実績 (B)		前年同期比 (B-A)		2020/03 Q1-2 期初計画 (C)		期初計画比 (B-C)	
					増減額	増減率			増減額	増減率
受注高	100,496		100,488		(8)	△ 0.0%	91,300		+9,188	+10.1%
売上高	80,598	100.0%	88,723	100.0%	+8,124	+10.1%	81,700	100.0%	+7,023	+8.6%
売上原価	60,416	75.0%	65,975	74.4%	+5,558	+9.2%	60,700	74.3%	+5,275	+8.7%
売上総利益	20,181	25.0%	22,747	25.6%	+2,565	+12.7%	21,000	25.7%	+1,747	+8.3%
販売費及び 一般管理費	15,246	18.9%	15,651	17.6%	+405	+2.7%	15,800	19.3%	(148)	△ 0.9%
営業利益	4,935	6.1%	7,096	8.0%	+2,160	+43.8%	5,200	6.4%	+1,896	+36.5%
経常利益	5,043	6.2%	7,313	8.2%	+2,269	+45.0%	5,200	6.4%	+2,113	+40.6%
親会社株主に 帰属する当期利益	3,309	4.1%	5,055	5.7%	+1,745	+52.7%	3,500	4.3%	+1,555	+44.4%
受注残	89,019		87,494		(1,525)	△ 1.7%	-		-	-

受注高・売上高・各利益それぞれで会社計画を達成
第3四半期に予定していた中央省庁の複数案件（合計約60億円）の売上が前倒しに

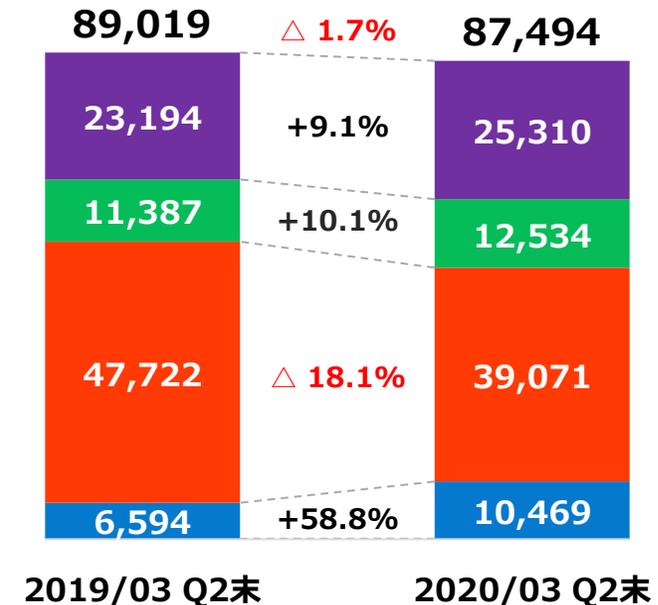
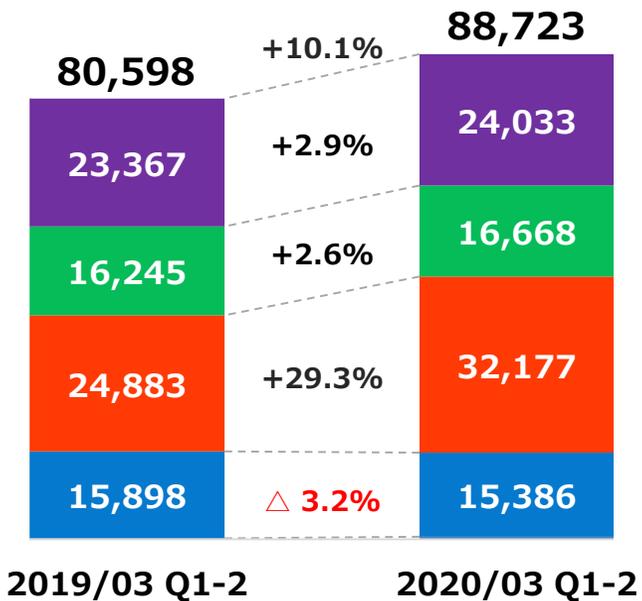
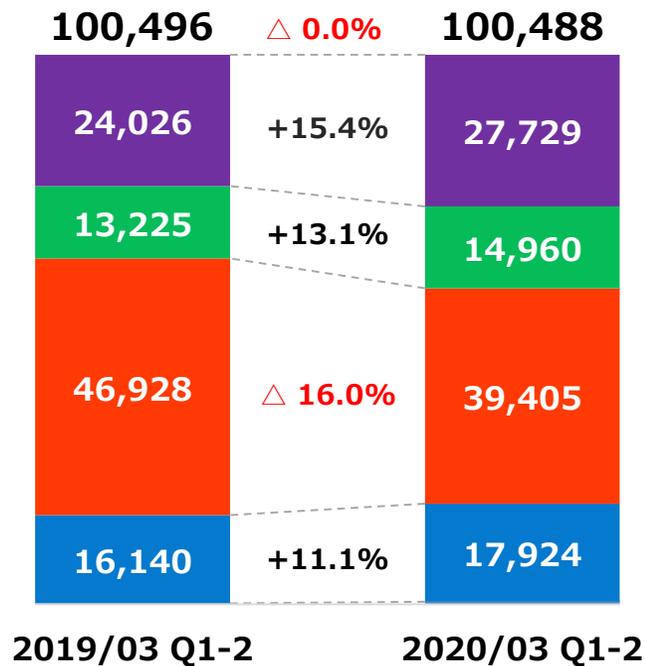
マーケット別 受注高・売上高・受注残高

■ 受注高

■ 売上高

■ 受注残高

(単位：百万円)



エンタープライズ

セキュリティ対策、クラウド基盤、働き方改革、及び、中期事業計画で注力市場としているスマートファクトリーのビジネスが堅調

通信事業者

サービス基盤ビジネスを中心に堅調

パブリック

注力市場のヘルスケアや教育を含め、セキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが堅調。売上高については、中央省庁の複数案件が前倒しに

パートナー

主要パートナー向けのビジネスが堅調

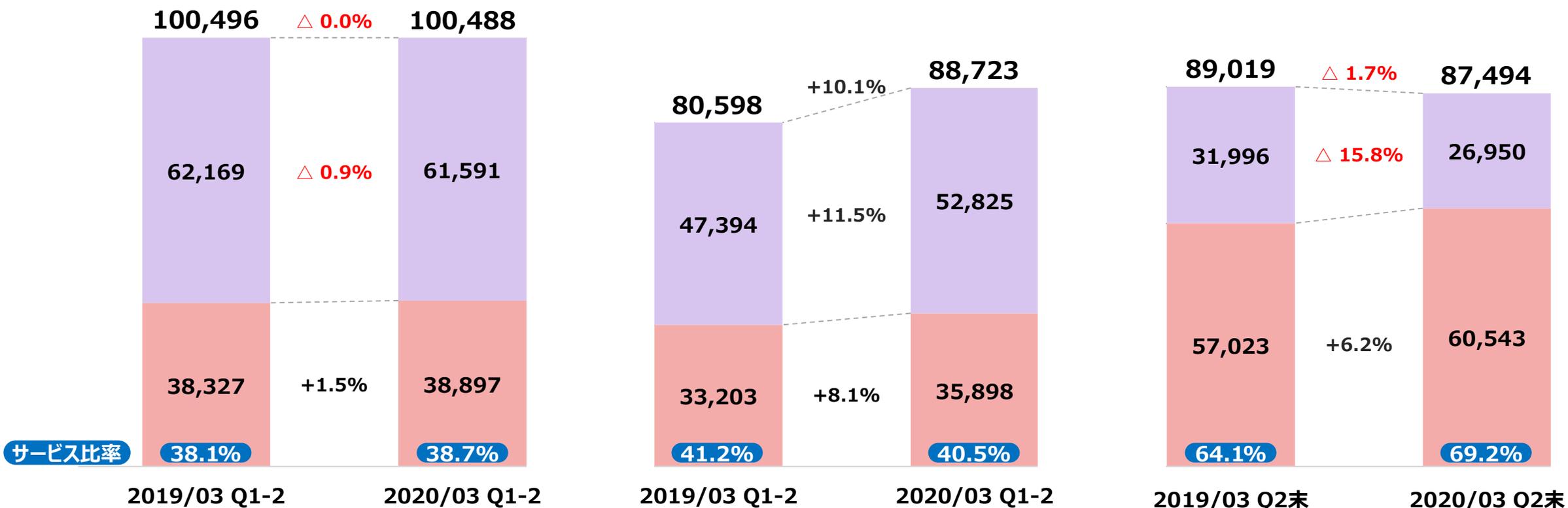
商品群別 受注高・売上高・受注残高

■ 受注高

■ 売上高

■ 受注残高

(単位：百万円)



機器

サービス

「統合サービス事業」が拡大し、サービス比率が受注高・受注残高において増加
売上高については、中央省庁の複数案件（機器中心）が前倒しとなり、サービス比率が低下

セグメント情報

(単位：百万円)		報告セグメント					その他	合計	調整額	連結 損益計算書 計上額
		エンタープライズ	通信事業者	パブリック	パートナー	計				
2020/03 Q1-2 【当期】	売上高	24,037	16,669	32,180	15,387	88,275	464	88,740	(16)	88,723
	セグメント利益	2,353	1,413	2,281	1,524	7,572	(25)	7,546	(450)	7,096
	利益率	9.8%	8.5%	7.1%	9.9%					8.0%
2019/03 Q1-2 【前期】	売上高	23,367	16,245	24,883	15,898	80,394	316	80,711	(112)	80,598
	セグメント利益	972	1,865	982	1,293	5,114	132	5,246	(310)	4,935
	利益率	4.2%	11.5%	3.9%	8.1%					6.1%

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、前期はサーバサービス事業等を、当期はグローバル事業等を含んでいます。
 2. セグメント利益の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2019.03.31	2019.09.30	前年度末比	
	実績	実績	増減額	増減率
資産合計	125,498	124,275	(1,223)	△ 1.0%
流動資産	113,410	113,624	214	+0.2%
現預金+有価証券	25,305	27,416	2,110	+8.3%
売掛金+受取手形	43,464	37,463	(6,000)	△ 13.8%
棚卸資産	14,287	19,457	5,169	+36.2%
その他	30,352	29,287	(1,065)	△ 3.5%
固定資産	12,087	10,650	(1,437)	△ 11.9%
有形固定資産	5,240	4,884	(356)	△ 6.8%
無形固定資産	1,434	1,563	128	+9.0%
投資等	5,412	4,203	(1,209)	△ 22.3%
負債合計	58,640	53,917	(4,722)	△ 8.1%
流動負債	49,846	45,010	(4,836)	△ 9.7%
固定負債	8,793	8,906	113	+1.3%
純資産合計	66,858	70,358	3,499	+5.2%
株主資本	66,631	70,054	3,422	+5.1%
その他の包括利益累計額	62	(10)	(73)	-
新株予約権	163	180	16	+10.1%
非支配株主持分	-	133	133	-
負債純資産合計	125,498	124,275	(1,223)	△ 1.0%

為替レート等

	2019/03 Q1-2	2020/03 Q1-2	前年同期比	
			増減額	増減率
為替レート（\$円）	109.10	109.65	+0.55	+0.5%
1株当たり当期利益（円）	39.10	59.68	+20.58	+52.6%
1株当たり配当金（円）	17.00	21.00	+4.00	+23.5%

	2019/03 Q2末	2020/03 Q2末	前年同期比	
			増減数	増減率
従業員（人）	2,355	2,448	+93	+3.9%

(注) 当期から連結対象の3社（ネットワンネクスト株式会社、エクストリーク株式会社、Net One Asia Pte. Ltd.）、及び、非連結子会社への出向の影響を除いた場合の、当第2四半期末の従業員数は2,321名です。

中期事業計画の進捗

進捗状況：注力市場

好調



ヘルスケア市場

対象：大規模病院

受注高：+14億円
(前年同期比)

プロジェクト例

医療システムごとに異なるICT基盤の統合
(システムとインフラの分離調達/コスト削減)

電子カルテ向け仮想デスクトップ
(ネットワーク分離によるセキュリティ対策)

ICT基盤全てをカバーする運用サービス

好調



教育市場

対象：教育委員会

受注高：+7億円
(前年同期比)

プロジェクト例

教育システムごとに異なるICT基盤の統合
(システムとインフラの分離調達/コスト削減)

教育ICT活用に向けた教室Wi-Fi
セキュリティガイドラインに即したネットワーク分離
(教育現場におけるICTの安全な利活用)

お客様の人材不足を支援する運用サービス

計画通り



スマートファクトリー市場

対象：大手製造業

受注高：+7億円
(前年同期比)

プロジェクト例

ランドデザイン作成コンサルティング
(セキュリティ/ネットワークの標準仕様書作成)

工場内ネットワーク基盤の整備および
数万台規模の接続端末の可視化
(セキュリティ対策)

工場内のセキュリティ/ネットワーク運用サービス

進捗状況：新モデル

計画通り



MSP（マネージド・サービス・プロバイダー）の支援

内容：MSPのサービスを支援するソリューションを提供

様々なMSPに向けて提案を展開中

プロジェクト例

MSP	マネージドサービス	利用企業
システムインテグレータ	Wi-Fi	全国チェーン店舗
大企業の情報子会社	セキュリティ	グループ企業
通信事業者	SD-WAN	中小拠点

計画通り



リファーマビリティ（再生品）の展開

内容：再生品・第三者保守を、新設子会社から提供

受注高：8億円
(当期から事業開始)

プロジェクト例

クラウド移行期間の、サポート切れ機器の継続利用
(第三者保守サービス)

数百拠点への展開に向けた、機器選定の検証
(機器レンタルサービス)

コモディティ機器の10年間利用
(キャピタルサービス+第三者保守サービス)

進捗状況：既存市場



グループ統合



オンプレミス

好調



マルチクラウド

好調

プロジェクト例

マルチクラウドに向けたグランドデザイン提案・運用コンサル・運用自動化

自治体クラウド / グループ企業向けセキュリティクラウド
(グループでの効率的なシステム利用・セキュリティ強化)

全グループ端末数万台の可視化および不正端末の隔離
(グループ全体でのセキュリティ向上)

製造業：数万人に向けた、モバイル端末での業務環境
(在宅勤務も含めた、セキュアな働き方改革)

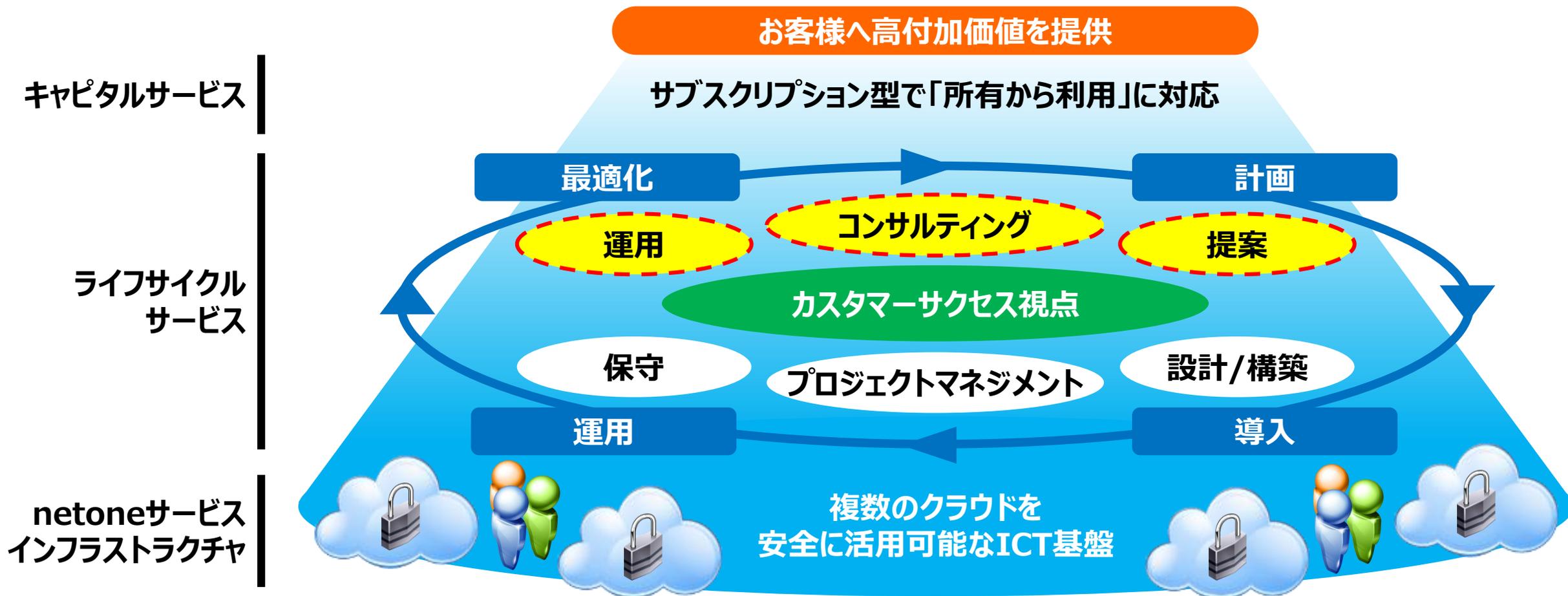
クラウド上のセキュリティガバナンスの強化
(マルチクラウド環境で、同一のセキュリティポリシーを適応)

ネットワーク分離システムを拡張性の高いクラウド環境で構築
(セキュリティ強化 / 運用コストの最適化)

開発環境をVMware Cloud on AWSへ移行
(ビジネススピードの向上 / 運用コストの最適化)

進捗状況：統合サービス事業

新運用サービスパッケージを提供開始
 カスタマーサクセスを軸に、運用→最適化コンサル→改善提案の流れを強化



進捗状況：働き方改革2.0/DX

キーワード

業務の自動化

情報の可視化・活用

取り組みの事例化

FY19：環境の整備

新収益認識基準への対応
業務ルール・システム基盤の刷新

FY20：情報の蓄積

情報の蓄積・可視化
利活用の実践

FY21：価値の提供

お客様満足度向上に向けた
情報の有益な利活用

業務フローをあるべき姿に
システムとの融合で生産性を改善

情報を差別化要素として
提案活動に新しい価値を付与

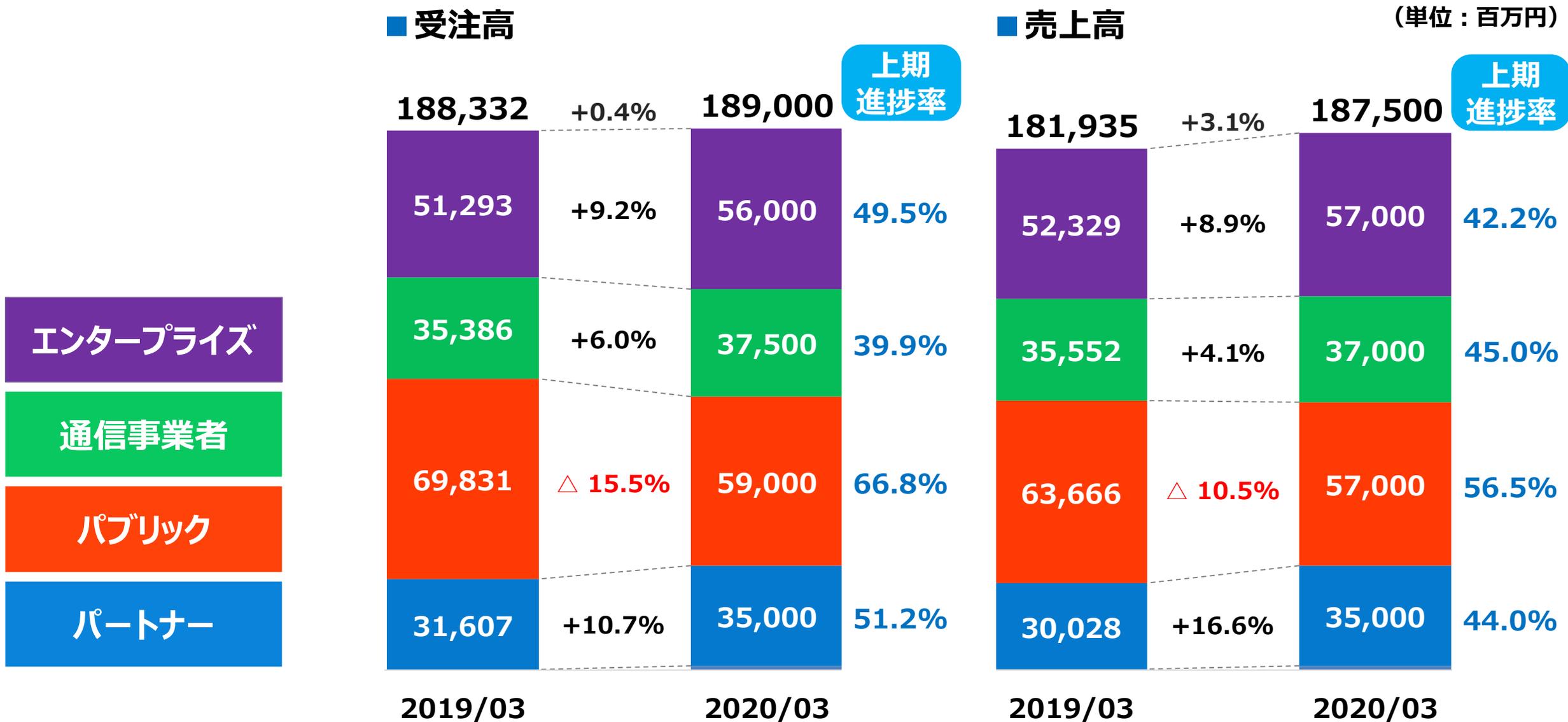
DXの知見とともに、ICT基盤ソリューションをお客様に提供
統合サービス事業の大きなドライバーに

2020年3月期 通期業績の見通し

2020年3月期 通期業績の見通し (※期初公表値から変更なし)

(単位：百万円)	2019/03 実績		2020/03 公表計画		前年同期比	
					増減額	増減率
受注高	188,332		189,000		+667	+0.4%
売上高	181,935	100.0%	187,500	100.0%	+5,564	+3.1%
売上原価	137,540	75.6%	139,800	74.6%	+2,260	+1.6%
売上総利益	44,395	24.4%	47,700	25.4%	+3,305	+7.4%
販売管理費	31,383	17.2%	32,700	17.4%	+1,317	+4.2%
営業利益	13,012	7.2%	15,000	8.0%	+1,988	+15.3%
経常利益	13,258	7.3%	15,000	8.0%	+1,742	+13.1%
親会社株主に帰属 する当期利益	8,913	4.9%	10,200	5.4%	+1,287	+14.4%

2020年3月期 通期業績の見通し マーケット別 (※期初公表値から変更なし)



つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる



net one